

～有機農業で人を育て、持続可能な農業の理解者、応援団を育てる～

＜基本情報＞

- 所在地：東京都多摩市
- 取組開始：平成6年
- ＜経営概要＞
- 経営面積：0.73ha(教育農場)
- 構成員：300名
- 主要作物：野菜、果樹、花き



＜効率的な生産に向けた取組＞

- 限られた面積の教育農場を効率的に活用するため、学生2人1組で1年間 決められた区間の管理を徹底させ、10品目以上の農作物を栽培。
- 気象条件に合わせた作付体系を選び、資材は自然界にあるものを基本に活用。
- 夏季休暇中は畑を休ませて、その間に生えた雑草は学生が刈って積んでおき、枯れたものを野菜の根元に敷いて草マルチとして利用。



＜地域内外・他業種と連携した安定出荷・販路確保の取組＞

- 栽培に必要な堆肥は近隣の畜産農業者、造園業者等との連携により調達。
- 教育農場で収穫された農作物は、大学祭、オープンキャンパス、地域イベント等で地域住民に販売されるとともに、大学内のオーガニックカフェでも利用、販売。



＜地域内外の消費者等への情報伝達の取組等＞

- 農場での実習や販売以外の活動として、オーガニックレシピの開発とレシピ本の製作、子育て支援施設での親子有機野菜教室の開催、水田再生のための里地里山プロジェクトの実施など、地域内外の消費者への情報発信を展開。
- 多摩市農業委員会、農業者等の農場視察を受け入れるなど、地域への情報発信や意見交換等を展開。

＜地域のリーダーとしての人材育成活動＞

- 教育農場で有機栽培により健全な野菜が育つことを体験し、卒業後、有機農業のよき理解者として、有機農産物等を食べ支える消費者として有機農業の普及・拡大に寄与。卒業生の中には、有機農産物などの販売に直接関わっている者や、有機農業者となって活躍する者もいる。



＜教育機関や地域が一体となった人材育成活動＞

- 平成28年から有機農業を通して、「地域を支える・地域が支える・地域とつながる」取組として、農場の一部にCSA(地域支援型農業)で運営する持続可能なコミュニティー菜園を開設。地域の消費者等から募集したパートナーやサポーターには、有機農産物の定期出荷や畑活動への参加受入れを実施し、多様な人や世代が集う場となっており、人材育成の拠点となっている。